



関西大学学術リポジトリ

Kansai University Institutional Repository

Title	「日支合辦語」の研究
Author(s)	四宮, 愛子
Citation	文化交渉 : Journal of the Graduate School of East Asian Cultures : 東アジア文化研究科院生論集, 7 : 59-78
Issue Date	2017-11-30
URL	http://hdl.handle.net/10112/11530
Rights	
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher

「日支合辦語」の研究

四 宮 愛 子

An Examination of *Nisshigōbengo*

SHINOMIYA Aiko

Abstract:

The aim of this study is to analyze *Nisshigōbengo* (日支合辦語) focusing on its linguistic characteristics while also examining its function in society.

During the First Sino-Japanese War (1894-1895) up until Japan's defeat in World War II (1945), a Japanese-Chinese-mixed language developed in China and became known as *Nisshigōbengo*. Nakatani Shikaji (中谷鹿二), a Japanese-Chinese interpreter and Chinese educator, examined *Nisshigōbengo* in his *From Broken Sino-Japanese to Correct Chinese* (日支合辦語から正しき支那語へ).

Based upon an examination of Nakatani's work, this study has found that *Nisshigōbengo* is on the level of a 'restricted pidgin' linguistically, and as 'jargon' socio-functionally. This incongruity between the linguistic characteristics and social function possibly derives from the difference in the attitude toward *Nisshigōbengo* on the part of Japanese and Chinese. Japanese tended to try to use it condescendingly as a method of communication. Chinese, however, seemed to understand it as a unique Japanese way of speaking and used it as necessary when speaking with Japanese. In other words, *Nisshigōbengo* was developed more unilaterally by Japanese rather than through mutual linguistic exchange.

Keywords: 中谷鹿二、「日支合辦語」、言語の特徴、社会的機能、生成過程

はじめに

1894年の日清戦争頃から1945年の日本の敗戦頃にかけて、日本語と中国語の接触によって生成された「日支合辦語」や「兵隊支那語」等と呼ばれる言語が存在し、主に日本人と中国人との間で、コミュニケーションの補助的言語として使用されていた。雑誌や新聞のコラムに取り上げられたり、日本語と中国語が混交した言語を正則の中国語に正そうとする本が出版されるほどにその使用は拡大した。

拙論は、中谷鹿二（1926）の『日支合辦語から正しき支那語へ』を主な研究対象とし、日本語と中国語の接触言語「日支合辦語」を言語的特徴と社会的機能の二つの側面から分析及び考察し、当時の日本人と中国人の相互認識について検討する。

一、中谷鹿二と小冊子『日支合辦語から正しき支那語へ』

中谷鹿二（以下、「中谷」という）は、宮島大八の善隣書院で中国語を学び、陸軍通訳や中国語講師、中国語学習雑誌『善隣』の主幹を務めたが、日本語と中国語が混合した「妙な言葉」¹⁾を「日支合辦語」と命名し、一貫してその使用の撲滅を主張している。

中谷は、1925年2月11日から3月28日に計34回にわたり、中谷螢光生²⁾の名前で『満洲日日新聞』に「正しき支那語の話し方と日支合辦語の解剖」を連載し、翌1926年に大連満書堂より『日支合辦語から正しき支那語へ』を出版する。これは、元来「日支合辦語」を正則の中国語に訂正することを目的としたものであるが、結果的に「日支合辦語」を体系的にまとめた冊子となっている。

二、接触言語の生成過程とその定義

「日支合辦語」を分析する前に、接触言語の生成過程とその定義を確認する。

接触言語の生成過程において見られるジャーゴン、ピジン、クレオールの定義については、例えば、ロレット・トッド（1986）による4段階の区分や、Peter Mühlhäusler（1986）による5つの発展段階の区分など、諸説様々あるが、拙論における定義は以下の通りとする。

1) 中谷螢光生（1925）「正しき支那語の話し方と日支合辦語の解剖（二）」『満洲日日新聞』大正14年2月13日

2) 中谷鹿二は複数のペンネームを使用している。

1. ジャーゴンの定義

- 1) 言語を同じくする者や集団、或いは言語を異にする者や集団の間で使用される。
- 2) 通用する人的、社会的範囲は限定されている。
- 3) 表現される内容が限定されている。
- 4) 安定した文法や規則性は確立していない。

2. ピジンの定義

- 1) 2つ或いはそれ以上の言語の接触によって生成された言語。
- 2) 言語を異にする者や集団の間におけるコミュニケーションの手段。
- 3) ある社会や集団の母語（第一言語）ではない。
- 4) ある社会や集団における補助的言語。
- 5) 通用する範囲や表現可能な内容が限定的である。
- 6) 独自の文法或いは規則性や傾向を有する。
- 7) 実際に使用されている。

3. クレオール の定義

- 1) 接触言語がある社会集団の母語（第一言語）になっている。

三、「日支合辦語」の言語的特徴

まず、「日支合辦語」の言語的特徴を統語（語順及び構文）、形態（語彙）、語用（語彙の使い分け）の観点から分析する。

そして、「日支合辦語」がその言語的特徴から総合的に見て、接触言語の生成過程のどの段階に位置していたかを検討する。

1. 「日支合辦語」の構文

1-1. 語順

下記の表1は、「日支合辦語」の語順について典型的な例文を挙げたものである。

表1：「日支合辦語」の語順

	日支合辦語	振り仮名	日本語訳
1	他的姑娘的朋友大々的有	ターデクーニヤンデボンユーターターデユー	彼には別嬪さんに馴染が澤山ある
2	你的奥さんの來々沒有	ニーデオク…ライライメイユー	貴下の奥さんはお出でになりませんでした

3	我的明天的房子歸る	ワーデミンテンデファンヅカヘ ...	私は明日家に歸る
---	-----------	-----------------------	----------

表1に挙げた例文を「日支合辦語」の単語ごとに区切り、その直訳及びそれに対応する正則の中国語を記すと表2の通りになる。（「日支合辦語」は【合】、直訳は【直】、正則の中国語は【中】と省略する。）

表2：「日支合辦語」の語順

1	【合】 【直】 【中】	他的／姑娘的／朋友／大々の／有 彼／女性／友達／たくさん／ある 他有（認識）很多姑娘 ³⁾
2	【合】 【直】 【中】	你的／奥さんの／來々／沒有 あなた／奥さん／来る／（否定）ない 你的太太沒來了
3	【合】 【直】 【中】	我的／明天的／房子／歸る 私／明日／家／帰る 我明天要回家

表2から、「日支合辦語」の語順は、正則の中国語ではなく、日本語の語順に則していることがわかる。

1-2. 構文

「日支合辦語」に見られる特徴的な構文は4種類あり、1) 疑問の「か」、2) 文末の「有」、3) 命令・希望の「好」、4) 否定の「没有」と「不是」である。

1) 疑問の「か」

疑問を表す場合には、文末に日本語の「か」をつける。この「か」は、平叙文の文末に置いて当否疑問文を組み立てる正則の中国語の文末助詞「吗」に相当する。但し、「日支合辦語」の場合は、表3例2「多少」、例3「なーべん」⁴⁾、例4「なんほ」のように疑問詞が用いられていても、疑問を表すマーカーとして「か」を使用する。

表3：疑問の「か」

	合辦語	振り仮名	日本語
1	你的知道 <u>か</u>	ニーデチド…	お前知つてゐるか

3) 筆者の拙訳

4) 「なーべん」、「那べん」、「那邊」は、「日支合辦語」で「どこ」の意味。

2	一個多少錢 <u>か</u>	イカドーシヨーセン…	一ついくらか
3	你的房子な <u>ーべんか</u>	ニーデファンツ…	お前の家は何處か（何處に住んでゐるか）
4	那麼你的なんぼ <u>か</u>	ナーモニーデ…	それでは貴下は幾らですか

2) 文末の「有」

文末に用いられる「有」は、所有・存在の「有」と動詞+「有」の2種類に分類できる。第一は、所有や存在を表す動詞の「有」である。

表4：所有・存在の「有」

	合辦語	振り仮名	日本語
1	他的姑娘的朋友大々的 <u>有</u>	ターデクーニヤンデポシユーターターデユー	彼には別嬪さんに馴染が澤山ある
2	每天每天的幹活計大大的 <u>有</u>	マイテヌマイテヌデガンホジターターデユー	毎日毎日仕事は澤山ある（忙しいの意）
3	玉子 <u>有</u>	タマゴユー	鶏卵がある

第二は、動詞の後ろに「有」を加えて、動詞の語尾活用、或いは助動詞のように用いている「有」である。

表5：動詞+「有」(1)

	合辦語	振り仮名	日本語
1	他的頭的壞了 <u>有</u>	ターデアタマデボワイラユー	彼は頭を負傷した
2	他的昨天的歸 <u>有</u>	ターデゾーテヌデカヘ…ユー	彼は昨日歸りました
3	他的去年的快々の死了 <u>有</u>	ターデキユイネンデカイカイデスーラユー	彼は去年既に死亡した

表6：動詞+「有」(2)

	合辦語	振り仮名	日本語
1	這個你的壞了的與さんの生氣 <u>有</u> ぞ	チャカニーデホワイラデオク…デソシキユー…	これをお前壊すと奥さんに叱られるぞ
2	他的錢給沒有的三びん進上 <u>有</u>	ターデセヌケーメイユーデ…シソジョーユー	彼は金を呉れずに私を殴打した
3	這個你的飯々 <u>有</u> か	チャカニーデメシメシユー…	これをお前喰べたことがあるか

以上の事例は、「有」及び日本人の「有」の使用について正則の中国語とは異なる「日支合辦語」独自の用法が成立していることを示唆している。

筆者は、動詞の後ろに加えられた「有」が助動詞のような働きをしていて、日本語の語尾活用の影響を受けているのではないかと考える。

3) 文末の「好」

命令や希望を表す場合、表7のように文末に「好」をつける。

表7：希望・命令の「好」

	合辦語	振り仮名	日本語
1	你的力氣大大的押的 <u>好</u>	ニーデリークターターデオ…デホー	お前力を出して押せ
2	三毛錢大貴ぢやないか一毛錢にする <u>好</u>	サンモーセヌタークイ…イモーセヌ…ホー	三十銭は大へん高い十銭にして置け
3	這個的壞了你的快々の幹活計 <u>好</u>	チヤカデホワイラニーデカイカイデガンホジホー	これが壊れたからお前早く直せ

この「好」の用法について、拙論では、「アルヨことば」とは区別して捉え、接触した元の言語（正則の中国語）の語彙や構造などを借用しながら言語体系や機能を発達させていくといった、ジャーゴンやピジン、クレオール¹の生成過程に見られる特徴に合致するものと捉える。

4) 否定の「沒有」と「不是」

表8のように、述語や目的語の後ろに否定副詞の「沒有」や「不是」を置いて否定を表す。

否定副詞として、「沒有」と「不是」の他に、「不要」が挙げられるが、「日支合辦語」においては「不要」は構文ではなく語彙の問題として扱う。

表8：否定の「沒有」と「不是」

	合辦語	振り仮名	日本語
1	這個酒的力氣沒有的喝醉的 <u>沒有</u>	チヤカチユーデリーキメイユーデハツオイデメイユー	此の酒は弱いから酔はない
2	你的大貴的我的買賣 <u>沒有</u>	ニーデタークイデワーデマイマイメイユー	お前は高いから私は買はない
3	今天來々有的壞了 <u>沒有</u>	キヌテヌライライユーデホワイラメイユー	今日来たばかりだから腐つてはゐません
4	這個我的 <u>不是</u>	チヤカワーデブス	これは私ではない
5	小偷兒的 <u>不是</u>	シヨートウルデブス	盗んだのではない

中谷は、否定の「沒有」、「不是【ブス】」について、その位置が正則の中国語とは異なっており、且つ疑問詞としての用法でないことを指摘している。このように、否定詞の位置も「日支合辦語」は日本語の語順に即している。

2. 「日支合辦語」の語彙

2-1. 語彙

中谷の『日支合辦語から正しき支那語へ』に挙げられている語彙は、計44語である。全体の語彙は不明確なもの、社会的需要は非常に限られていたことが窺える。

2-2. 語彙の分類

「日支合辦語」をその形態及び由来から1) 日本語、2) 中国語、3) 中国語+日本語、4) 造語の4種類に分類する。

1) 日本語

表9：語彙の分類「日本語」由来

	合辦語	振り仮名	意味
1	ぢやないか		語調を強める
2	歸らう	カヘ…	帰る、行く
3	奥さん	オク…	奥さん、女性に対する呼称
4	車	クルマ	人力車
5	交換々々	コーカンコーカン	取り替える、交換する
6	飯々	メシメシ	飯（ごはん）、食べる
7	進上	シンジヨー	与える

表9の例文は表10の通りである。

表10：語彙の分類「日本語」例文

	合辦語	振り仮名	日本語
1	你的大々のおそいの不行ぢやないか	ニーデターターデ…デブシン…	(記述なし)
2	你的今天歸るか	ニーデキヌテヌカヘ…	お前今日行くか
3	奥さん甚麼買賣	…シヨママーイマイ	奥さん何をお買ひになりますか
4	車你呀	クルマニーヤ	人力車夫
5	這個壞了的你的交換々々	チヤカホワイラデニーデコーカンコーカン	これは腐つてゐるからお前取替へろ
6	你的一个飯々好	ニーデイカメシメシホー	貴下一つ召上つて御覧下さい
7	我的你的進上、你的我的進上	ワーデニーデシンジヨー、ニーデワーデシンジヨウ	私がお前にやるからお前私に呉れ

2) 中国語

表11：語彙の分類「中国語」由来

	合辦語	振り仮名	意味
8	一樣的	イヤンデ	同じの
9	一個	イカ	一つ
10	你呀	ニーヤ	中国人、(二人称) あなた
11	你的	ニーデ	中国人、(二人称) あなた
12	壞了	ホワイラ	破損する、(衣服) 綻る、破れる、(木) 折れる、(身體) 負傷する、(茶碗) 割れる、(食べ物) 腐る
13	這個	チヤカ	これ、この
14	我的	ワーデ	(一人称) 私
15	大々的	ターターデ	大へん、非常に、甚だ、たくさん
16	說話	ソホワ	話、話す、言う
17	買賣	マイマイ	買う、賣る
18	小偷兒	シヨートル	泥棒、強盗、盗む

表11の例文は表12の通りである。

表12：語彙の分類「中国語」例文

	合辦語	振り仮名	日本語
8	這個一樣的拿來	チヤカイヤンデナーライ	これと同じのを持つて來い
9	一個多少錢か	イカドーシヨージェヌ…	一ついくらか
10	野菜屋の你呀	…ニーヤ	(野菜屋の中国人)
11	你的知道か	ニーデチド…	お前知つてゐるか
12	他的頭的壞了有	ターデアタマデポワイラユー	彼は頭を負傷した
13	你呀這個を這個してそれから這個せい	ニーヤチヤカ…チヤカ…チヤカ…	(お前これをこれしてからこれしなさい)
14	我的明天的來	ワーデミンテヌデライ	私は明日來ます
15	這個大々的要	チヤカターターデヨー	これは澤山要る
16	他的說話沒有我的不知道	ターデソホワメイユーデワーデ ブチドー	彼は私に話さないから私は知らない
17	你的甚麼買賣	ニーデシヨマママイマイ	お前何を買ふのか
18	他的我的錢小偷兒	ターデワーデチエヌシヨートル	彼は私の金を盗んだ

3) 中国語 + 日本語

表13：語彙の分類「中国語 + 日本語」

	合辦語	振り仮名	意味
19	還少々	ハイショーショー	今少し、「もう少々」と同義
20	那べん（なーべん）	ナー…	（那邊）何處、中国語の「那兒」に相当
21	不行ぢやないか	ブシン…	いけない、事物の不可を表す
22	少々慢々の	ショーショーマヌマヌデ	少し待て

表13の例文は表14の通りである。

表14：語彙の分類「中国語 + 日本語」例文

	合辦語	振り仮名	日本語
19	<u>還少々</u> 頂好的沒有か	ハイショーショーテンホーデメイユ…	今少し好いのはないか
20	你的 <u>なーべん</u> 的他的を看々した	ニーデ…デターデ…カヌカヌ…	お前何處で彼に會つたか
21	你的我的に説話沒有拿去 <u>不行ぢやないか</u>	ニーデワーデ…ソホワメイユナーキユイブシン…	お前私にだまつて持つて行つては行けないではないか
22	你的這邊的 <u>少々慢々の</u>	ニーデチヤベンデショーショーマヌマヌデ	お前此處で暫く待つてゐろ

4) 造語⁵⁾

表15：語彙の分類「造語」

	合辦語	振り仮名	意味
23	ぼこべん		悪い、事物の不可を表す
24	幹活計	カンホージ	仕事、仕事をする、事務を執る、商買をする
25	さんびん進上（三びん進上）	…シンジヨー	殴打する

表15の例文は表16の通りである。

5) 由来から見ると、「ぼこべん」は中国語の「不夠本」、「幹活計」は中国語の「幹」・「幹活」・「活計」、「三びん進上」はおそらく日本語の「三回」・「ピンタ」・「進上」である。しかし、その由来を形態から判断するのは難しく、新しく造られた語と捉えることができる。拙論では、「ぼこべん」、「幹活計」、「三びん進上」を「造語」として扱う。

表16：語彙の分類「造語」例文

	合辦語	振り仮名	日本語
23	你的大々的 <u>ぼこぺん</u>	ニーデターターデ…	お前は非常に悪い
24	小孩快々の洗澡 <u>幹活計</u>	シヨーハイカイカイデシーゾー ガンホジ	ボーイ早く風呂を焚け
25	你的撒謊有的我的 <u>三びん進上ぞ</u>	ニーデサーホワンユーデワーデ …シンジヨー…	貴様嘘を云ふと張飛ばすぞ

「日支合辦語」の語彙の特徴は以下の通りである。

まず、表9の2「歸らう」、表11の12「壞了」、表11の15「大々的」のように元来の意味に加えて、原義から派生した複数の意味を持つもの。次に、表11の16「説話」、表11の18「小偷兒」、表15の24「幹活計」のように意味はそれぞれ対応する日本語や中国語に類似しているが名詞と動詞が兼用されて一つの単語に複数の意味を持たせ、表現機能の制約を補っていたと考えられるもの。また、表12の13から「日支合辦語」が非言語コミュニケーション⁶⁾に頼っていたことが窺えるもの。

3. 語彙の使い分け

語彙は少ないながらも、一部ではあるが以下のような語彙の使い分けが確認できる。

3-1. 「你呀」と「你的」

「你呀」と「你的」は、どちらも二人称「あなた」や「中国人」の意味を持つ類義語である。「你呀」の例を挙げると表17の通りである。

表17：「你呀」の例文

	合辦語	振り仮名	日本語
1	<u>你呀</u> 這個的いくらか	ニーヤチャカデ…	お前これはいくらか
2	<u>你呀</u> 這個的一天兩天慢々の飯々壞了沒有か	ニーヤチャカデイテエヌリアン テヌマヌマヌデメシメシホワイ ラメイユー…	これを一日二日置いてから食べても腐るやうなことはないか
3	<u>你呀</u> 電氣公園まで多少錢	ニーヤデンキコーエン…ドーシ ヨーセス	電氣公園まで幾らか

「你呀」が用いられている例文は計24例あり、発話者と被発話者によって4つの会話場面に分類できる。①日本人から中国人の商売人に対しては14例、②日本人から中国人の人力車夫に対しては5例、③日本人から中国人のボーイに対しては3例、④中国人の人力車夫から日本人に

6) 非言語伝達 (nonverbal communication) : 言語行動に伴う身ぶり・手まね・顔の表情なども、言語による伝達を補足して何らかの意味内容を伝えることがある。このような身ぶり・手まね・顔の表情などを総称して、非言語伝達 (nonverbal communication) と呼ぶことがある。(田中春美ほか (1978) 『言語学のすすめ』大修館書店,8頁)

対しては2例である。このことからわかるように、基本的な発話者は日本人である。

渡會貞輔（1935・1938）は、「你呀」が「お前」、「ボーイ」、「物賣」、「支那人」などの意味を持ち、「你呀」が指す対象が広いことを指摘している。⁷⁾

他方、「你呀」が侮蔑的な意味合いを含んでいるという指摘がある。安藤彦太郎（1988）は、「満人」に代わり「你呀」が蔑称として用いられるようになったと述べている。⁸⁾

中谷鹿二（1926）は、「你呀」が「不快を起させる様な言葉」であるとし、「日支合辦語」における「你呀」の用法の製造元は日本人であるようだとしている。

また、1900年の義和団事件に従軍していた原口統太郎（1938）⁹⁾は、「あなたといふ語が大事」という小題で、中国語の二人称の使い分けが重要であると述べている。¹⁰⁾ その記述には、「満洲で日本人の支那語となつてしまつてある你呀」とあることから、「你呀」の侮蔑的な含意を理解しないまま使用している場合のあることがわかる。正則の中国語から「你呀」を借用して「日支合辦語」に取り入れた結果と言えるだろう。

次に、「你的」の例を挙げると表18の通りである。

表18：「你的」の例文

	合辦語	振り仮名	日本語
1	明天的你的快々の起來、 <u>你的</u> 起來的我酌に起來說話	ミンテンデニーデカイカイデキライ、ニーデキライデワーデ…キライソホワ	明日お前早く起きろお前起きたら私を起こせ
2	我的每天每天 <u>你的</u> のを買賣するぢやないか	ウオーデマイテヌマイテヌニーデ…マイマイ…	私は毎日お前のを買ふではないか
3	<u>你的</u> の大々慢々の火車的沒有	ニーデターターマヌマヌデホーシヤデメイユー	お前馬鹿に遅いから汽車に間に合はない

「你的」が用いられている例文は計106例ある。発話者と被発話者によって5つの場面に分類できる。①日本人から中国人のボーに対しては27例、②日本人から中国人の商売人に対しては9例、③日本人から中国人の人力車夫に対しては2例、④中国人の商売人・ボーイなどから日本人に対しては8例、⑤その他は60例である。明記されていないが、発話内容から判断すると主な発話者は日本人であると推測される。

7) 渡會貞輔「支那語支那文 漫談（第六十三回）」『善隣』昭和10年（1935）10月號,4-6頁、『支那語支那文 漫談（増補）』善隣社,1938年

8) 安藤彦太郎（1988）『中国語と近代日本』岩波書店,10-124頁

9) 松岡洋右が記した原口の著書の序によれば、「原口統太郎君は北清事變の頃に支那へ渡り、その後四十餘年もの間、北支と満洲のみに生活して来た人で、最初は支那人を教育するための学學を經營し、自ら教鞭を執り、後には實業に従事して數千人の支那人を使役し、山東、河北、満洲において開拓事業をやつたこともある。」と紹介されている。

10) 原口統太郎（1938）『支那人に接する心得』實業之日本社,7頁

以上、「你呀」と「你的」の分析から次のような使い分けの傾向が見られる。まず、共通点は、「你呀」も「你的」も二人称「あなた」の意味を持つが、基本的には日本人が中国人に対して用いる。例文は少ないが、中国人が日本人に対して「你呀」、「你的」を使用する場合もある。しかし、中国人は日本人に対して「奥さん」や「掌櫃的」を使用する傾向にある。

「你呀」と「你的」の使い分けの相違点については、「你呀」は主に商売人や人力車夫に対して用いられる。当時の日本人は「你呀」を「～屋のお兄さん」のような感覚で捉えていたのかもしれない。加えて、侮蔑的な意味合いで使われる場合があった。他方、「你的」が指す対象は広義的で、中国人に対する二人称「あなた」として用いられている。筆者は「你的」には、侮蔑的な意味合いはなかったのではないかと考える。

3-2. 「沒有」と「不是」

「沒有」と「不是」の使い分けについて分析する。「沒有」は表19の通りである。

表19：否定の「沒有」

	合辦語	振り仮名	日本語
1	這個力氣大大的幹活計、壞了 <u>沒有</u>	チヤカリーキターターデガヌホジ、ホワイラメイユー	これを力一杯引ばつても壊れない位の意
2	你的來々沒有的錢進上 <u>沒有</u>	ニーデライライメイユーデセヌシンジヨーメイユー	お前來なければ金はやらないぞ
3	你的まだ飯々 <u>沒有</u> か	ニーデ…メシメシメイユー…	お前まだ飯を喰べないのか

「沒有」が用いられている例文は計35例である。その用法はさらに2種類に分類することができる。①動詞や形容詞を否定する副詞の「沒有」は27例、②存在の否定を表す形容詞の「沒有」は8例である。

次に、「不是」の例を挙げる。表24の通りである。

表20：否定の「不是」

	合辦語	振り仮名	日本語
1	我的買賣 <u>不是</u>	ワーデマイマイブス	私が買った（買った）のではない
2	日本來的 <u>不是</u> 、上海來的	イベヌデイデブス、シアンハイライデ	日本から来たものではありません 上海から来たのです
3	這個你的錢 <u>不是</u>	チヤカニーデセヌブス	これはお前の金ではない

「不是」が用いられている例文は計15例である。その用法は2種類に分類することができる。

①動詞を否定する副詞の「不是」は7例、②人やモノの性質・状態を否定する副詞の「不是」は8例である。

以上、「沒有」と「不是」の分析から以下の使い分けの傾向が見られる。まず、共通点は、「日支合辦語」の場合、「沒有」、「不是」は否定する対象や内容（名詞や形容詞・動詞）の後ろに置く。次に、正則の中国語では、「不」と「沒（有）」を時制により区別するのに対し、「日支合辦語」では、時制の区別はない。また、動詞を否定する場合、「沒有」と「不是」のどちらも用いられている。正則の中国語において、「沒（有）」は動詞の前に置いて動作行為の発生や完成を否定し、「不」は動詞の前に置いて否認を示す。¹¹⁾しかし、「日支合辦語」の「沒有」と「不是」にはそのような使い分けは見られない。

正則の中国語と比較すると、「你呀」と「你的」、「沒有」と「不是」、それぞれの使い分けはまだ十分に確立されているわけではない。しかし、拙論では語彙の使い分けの傾向が窺えるという事実に着目している。

上記の各分析結果を踏まえると、「日支合辦語」はその言語的特徴から総合的に見て、一般的な接触言語の生成過程における「限定ピジン」の初期段階に位置していたと評価できる。

四、「日支合辦語」の社会的機能

「日支合辦語」が社会的機能から見て、接触言語の生成過程においてどのような段階にあったと評価できるかについて検討する。

1. 日本国内における「日支合辦語」の機能

日本国内では、「日支合辦語」をコミュニケーションの手段として使用する必要性は極めて少なく、娯楽雑誌や漫才などにおいて中国や中国人を表象する役割語¹²⁾として用いられている。

娯楽雑誌で使われている「妙チキリンな支那語」或は「支那語入りのもの」の例として、「言葉【ソーハー】、火車【ホーシヤ】、錢【セン】、中國話【ツンコーホワ】」や「姑娘【グウニヤン】は腕を抱へて立ち食ひし」、「洋車【ヤンチヨ】は走りながらに三毛進上【サンモーシンジヨウ】」などが挙げられている。そして、ナカタニ生（1939）¹³⁾は、それらの中国語が用法や意味を十分に理解しないままに取り入れられた「一夜漬け式に習った支那語」であると述べている。加えて、ナカタニ生（1939）は「日支合辦語」が日本人の間で蔓延している状況を批判し

11) 興水優ほか（2009）『中国語わかる文法』大修館書店、317-318頁参照

12) 役割語とは、話者の人物像とステレオタイプの結びつけられた話し方（語彙、語法、言い回し、音声・音韻的特徴）のパターンのことである。（『明解言語学辞典』224頁）

13) 中谷鹿二のペンネームの一つ。

ているが、裏を返せば、日本人社会でそれだけ広がりつつあったことを示唆している。¹⁴⁾

以上のように、日本国内においては、「日支合辦語」は役割語として受容されていく。ただし、中国大陸における「日支合辦語」がその構造や用法をそのまま維持して日本国内に伝播するのではなく、「日支合辦語」或は正則の中国語の語彙が外来語として取り入れられる経過を辿る。当初は、それら変容した「日支合辦語」は、中国の様子を知る要素の一つとして受け入れられるが、やがて、それが「中国人」を表象するものとして使われるようになり、後に偏見や先入観などの固定観念の形成に繋がったのではないかと推測される。

2. 中国大陸における「日支合辦語」の機能

中国大陸においては、「日支合辦語」はコミュニケーションの補助手段の一つとして用いられたが、その捉え方は日本人と中国人との間には差異が見られる。なぜ、正則の日本語や中国語ではなく、言語機能的に制約のある「日支合辦語」を使用したのかについて検討する。

2-1. 生成環境及び使用拡大の経過

「日支合辦語」が生成される条件として、日本人と中国人が交流する場面で、且つそれぞれの日本語と中国語に対する知識が限られている場合が挙げられる。

そうした一例として、牛島春子（1941）の縣長夫人との会話についての記録がある。¹⁵⁾

私はすこしはにかみながらろくに知りもせぬ満語を、あれこれと工夫しながら懸命にあやつつて話題をさがし、二太々は満語を日本風に並べたり、知つてゐる日本語を間々にはさみ、手ぶり身ぶりをつかつてこれも却々社交的にふるまつた。（以下、略）

こうした限られた言語知識と非言語的コミュニケーションを用いる状況から、当初は不規則に日本語と中国語を混交させた表現が生まれ、自己紹介程度の内容なら、意思疎通が図れたことが窺える。それが、後に、ある独自の言語体系を有する「日支合辦語」の生成に繋がっていく。そして、「日支合辦語」は正則の中国語や日本語についての深い知識のない人たちからまた別の人へと、次第にそれが正則の中国語や日本語であるという認識の下で、口伝えで広まっていったと推測される。

2-2. 日本人の「日支合辦語」に対する捉え方

中尾佐助（2005）は、「協和語」（「日支合辦語」）について、「日本人は中国語のつもりで使い、あちらは日本語として聞いた言葉である。文法と語彙はだいたい中国語だが、発音はカタ

14) ナカタニ生（1935）「頭を悩ます繙譯のはなし」『善隣』昭和10年9月號,16-18頁

15) 牛島春子（1941）「二太々の命」『大陸の相貌』満洲日日新聞・大連日日新聞,1-7頁

カナ書きの発音である。（中略）正則の中国語から見ると滑稽な協和語であるのに、それが意外にも相互によく通ずるのであった。」¹⁶⁾と述べている。

倉石武四郎（1942）は、「支那語にもならない支那語」、「日本語にもならない日本語」として以下のような例を挙げている。

なるほど、支那語で考へれば「不要説」は「ものを云ふな」であるから、意味はわからうはずもない。しかし、支那語でこれを解かうといふのが、そもそもまちがつてゐるので、これを「不要（いらぬ）と説（いつた）ぢあないか」と訓讀したら、すぐわかる。

これは日本人の使ふ「支那語にもならない支那語」のことであるが、その反対に、支那人の使ふ「日本語にもならない日本語」がかなりあるらしい。その一番著名なのは、「タバコ、シンジヨウ」であらう。日本人は大抵がつてんして、タバコを投げてはやるが、一種の好奇心も鼻につきすぎると、何かしらわりきれないものが残つて、歪んだ日本語の姿に不快の感情を起こす人もあらう。¹⁷⁾

日本人は積極的に「支那語にもならない支那語」つまり「日支合辦語」を使っているにもかかわらず、反対に中国人が「日本語にもならない日本語」を使用することに対して不快感を抱いている。また、「日支合辦語」では正確な意思疎通ができていない場合があり、日本人が意図する意味の「日支合辦語」と中国人が理解する「日支合辦語」には差異が生じている。

日本人は中国語のつもりで「日支合辦語」を用いたが、実際には「日支合辦語」に接したことのある限られた人々の間でしか通用しなかったことに加え、「日支合辦語」を使用している日本人と中国人との間でも、大体の意味は理解できるものの、それはあくまでも推量交じりであったことが分かる。

他方、藤森節子¹⁸⁾（2013）は、小学校へ行く前から集団で遊んでいた子どもたちの間で覚えたはやし言葉「ニーデ ションマ カンホージ ヤーメンチュイデ サンピーケー（〈你的什麼于活計、衙門去的鎗斃給〉¹⁹⁾）」について記しているが、このことから「日支合辦語」が通用する範囲は限定されていたにもかかわらず、日本人の間では子どもにも影響を与えるほどに拡大していたことが窺える。

さらに、中谷は、日本人が「日支合辦語」を使う時の語気についても言及している。

16) 中尾佐助（2005）『中尾佐助著作集 第V巻 分類の発想』北海道大学出版会,230頁

17) 倉石武四郎（1942）「支那語になつた日本語」『國語文化講座 第六巻 國語進出篇』朝日新聞社,302-311頁

18) 藤森氏は、1932年「滿洲」鉄嶺（現在の中国遼寧省瀋陽の北東部）の生まれで、1947年3月末に日本へ引き揚げまでの15年間を関東州で暮らした。

藤森節子（2013）『少女たちの植民地 関東州の記憶から』平凡社,76-77頁

19) 「你的什麼于活計」となっているが、「于活計」の「于」は「干（幹）」であると思われる。

合辦語を使ふ人はよく支那人に對して你的甚麼【ニーデシヨマ】などと云ふことがある、これを邦訳すると貴様何か位に當りそれも優しく云ふならまだしも邦人の常として極めて語氣荒々しくやるので往々相手の感情を損ねることがある²⁰⁾

こうした日本人の「日支合辦語」の使用方法には中国人に対する高圧的な若しくは優越的な姿勢が窺える。中国人とコミュニケーションをとる際や中国人にものを言いつける場合に、正則の日本語や中国語ではなく、「日支合辦語」を積極的に用いている。

これらの事実から、日本人は「日支合辦語」をコミュニケーションの手段として捉えており、言語機能やその通用範囲に制約があるものの、日本人の間では一定の影響力を持っていたと言える。そして、日本人が使用する「日支合辦語」には、中国人に対する侮蔑的な意味合いも含まれていたが、その事実は当時の日本人の中国人に対する潜在的な優越感の存在を示唆していると考えられる。

2-3. 中国人の「日支合辦語」に対する捉え方

当時の中国人は「日支合辦語」を「一種日本語」として捉えており、その特徴として「的」や「什麼幹活計」を挙げている。²¹⁾ 加えて、日本人は重複を中国語の特徴として捉え「日支合辦語」にもその特徴を取り入れているが、反対に中国人は「二つ重ね」にすることを日本語の特徴として捉えている。『滿洲讀本』には、「わたし買ふ買ふ、いくらいくら、賣る賣るあるか」や「たかいたかいまけるまけるよろしい」等、その事例が述べられている。²²⁾

渡會貞輔（1938）は、「買ふ不买ふ」という小題の中で、（鱧魚を持つて來て）「一圓錢買ふ不买ふ」といった当時の中国商人の発話を記している。²³⁾

これらのことから、中国人が日本人の話し方に合わせて「日支合辦語」を用いていた、或いは「日支合辦語」を日本語として捉え日本人が理解できるようにそれを使用したことが窺える。

原口統太郎（1938）は、1900年の義和団事件に従軍した際に見た「一の奇現象」を記している。当時、日本人が「日支合辦語」を好んで使用したのに対して中国人が一貫して中国語を通じたことが記されており、日本人が使っている「日支合辦語」に対する中国人の姿勢や態度が読み取れる。²⁴⁾

黎摯（1959）は、「協和語」（「日支合辦語」）が不快にさせる「怪話」とであると述べている。

20) 中谷鹿二（1926）72頁

21) 大哈々生（1942）「紙上談（日滿共同語）」『善隣』昭和17年3月、49頁

22) 滿鐵東亞經濟調查局編（1927）『滿洲讀本』昭和二年版、93-99頁

23) 渡會貞輔（1938）『支那語支那文 漫談（増補）』善隣社、37頁

24) 原口統太郎（1938）『支那人に接する心得』實業之日本社 5-7頁

“協和語”，老实說，不是一种語言。而是一种日本文法和若干中国語彙的混合体。那是日本帝国主义侵佔我国东北、华北等地期间，产生的一种“怪話”。它的音調也十分古怪，令人听了很不舒服。后来，随着日本侵略中国的失败，这种語言就自然地生活中消灭了。²⁵⁾

人を不快にする要素として、「日支合辦語」が日本語と中国語の混合体であり、そのイントネーションは正則の中国語を基準に考えると奇妙なものであるということ以外に、中谷（1926）が指摘するような語気など、日本人の「日支合辦語」の使用態度が関係していると言える。

以上から、中国人は「日支合辦語」を日本人が話す言葉として捉え、場面により正則の中国語と使い分けをしており、コミュニケーションの手段というよりフォリナートークとして利用していたと考えられる。

上記の事実を踏まえると、「日支合辦語」は、その社会的機能の点では、一般的な接触言語の生成過程における「ジャーゴン」の段階に位置していたと評価できる。

2-4. 「日支合辦語」の使用背景

上記のように「日支合辦語」は日本人と中国人の間で相互に機能するのではなく、日本人が積極的に使用する一方で、中国人はそれに合わせる形で用いられている。

では、なぜ、主に日本人は、あえて言語的にも社会的にも制約のある「日支合辦語」を使用したのか。さらに、「日支合辦語」が、ただ日本語と中国語を混交させただけの段階に止まらず、その当時存在し続けた背景は何だったのか。

まず、当時の日本人には「日支合辦語」を用いて中国人と文化的に高度なレベルの思想的な交流を図るといった意図や目的ではなく、コミュニケーションをとるにしても、生活に必要な最低限のやり取りのレベルに止まり、それで足りるという認識が、意図的であるか無意識的であるかを問わず、前提にあったと考えられる。

そして、日本とは異なる風俗の中国という土地で生活する上で、周囲の環境に慣れていききたいという日本人側の心理が「日支合辦語」の形成と使用を促進した。

日本人と中国人が接する必要がある際に、最低限のやり取りや表現として学んだ、或いは伝え聞いた中国語や日本語が結果的には「日支合辦語」であったと言える。この「日支合辦語」を日本人は中国語と認識し、他方、中国人は日本語と認識していたことも特筆すべき点である。

また、その使用の度合いに大きな差異はあるものの、中国人も「日支合辦語」を使用してい

25) 黎擘（1959）「“怪話”可以少講」『戏剧报』

（拙訳）

「協和語」は、正直に言えばある種の言語ではなく、日本語の文法とわずかな中国語の語彙の混合体である。それは日本帝国主義者が我が国（中国）の東北や華北等の地を占領していた時期に生まれたある種の「怪話」である。そのイントネーションは非常におかしなもので、不快にさせる。その後、日本の中国侵略の失敗に伴い、この言語は自然と生活の中から消滅した。

たことに着目すると、それは、上記のような日本人側の心理や態度に呼応しているものと評価できる。加えて、日本人との状況や場面に応じて「日支合辦語」と正則の中国語を使い分けるなど、コミュニケーションの取り方においても意識的に区別されていた。

おわりに

一般的な接触言語の生成過程において、「日支合辦語」は言語的特徴から見れば「限定ピジン」の初期段階、社会的機能から見れば「ジャーゴン」の段階に位置していた。

「日支合辦語」は言語的及び社会的に制約があり、その使用範囲や言語機能は限定されているが、コミュニケーションの一つの手段として用いられていたと評価することができる。

ただし、「日支合辦語」の形成は、日本人と中国人双方の交流によって生成されたというよりも、日本人側からの単一方向の影響が強い。

そして、「日支合辦語」の言語的機能と社会的機能の間の齟齬は、日本人と中国人の「日支合辦語」に対する捉え方の差異と関係している。日本人は「日支合辦語」を中国人と接触する際に用いる言語として捉え、積極的に使用し、中谷鹿二の意図に反して、日本人の間では影響力を持っていた。加えて、日本人が使用する「日支合辦語」には、中国人に対する優越感や侮蔑的な意味合いが含まれている。他方、中国人は「日支合辦語」を「日本人が話す言葉」として捉え、日本人の話し方に合わせるフォリナートークとして利用していた。また、場面によって「日支合辦語」や正則の中国語、正則の日本語の使い分けをしている。こうした点で、「日支合辦語」を含む複数の言語の使用に関して、当時の中国人が結果的に、より高度な言語操作能力を実践していたとも言えよう。

筆者は、「日支合辦語」が、中国という新しい社会環境に慣れたいという当時の日本人の潜在的意識や姿勢に端を発し、必要最低限のやり取りができる言語手段として生成され、原初的な独自の言語体系を備えるに至ったものではあるが、同時に、全てではないにせよ、中国人に対する優越感や蔑視に裏打ちされて使用されていたならば、到底、中国人社会に受容されるべくもなく、結果、日中の双方向のコミュニケーション言語としての地位を確立するまでには至らなかったと考える。

そして、日本の中国からの撤退によって、「日支合辦語」が生成された言語及び社会環境が消滅したことで、その機能も失われた。

「日支合辦語」は、日本と中国との歴史とかがわりが深い。「日支合辦語」を通して当時の日本人と中国人の言語接触の有り様、すなわち、文化交渉の態様を垣間見ることができる。²⁶⁾

26) ①本編は修士論文を要約したものである。頁数の制約上、表や引用箇所を一部割愛した。

②「兵隊支那語」、「奥さん支那語」や「協和語」など、日本語と中国語の混交語に関する名称は様々あるが、拙論では中谷が定義している「日支合辦語」の名称を採用する。

③拙論では、日記や回顧録を除いて、小説や映画・ドラマなどのフィクションで用いられている日本語と中国語が混交した表現と実際に使用されていた「日支合辦語」とを区別して考える。

④引用文の「日支合辦語」の振り仮名は、【】内に記した。

⑤表の「日支合辦語」用例の二重線は、筆者が加えたものである。

